

出雲圏域水害・土砂災害に関する減災対策協議会 (フォローアップ)

- ・令和5年度の取組状況
- ・令和6年度の取組予定

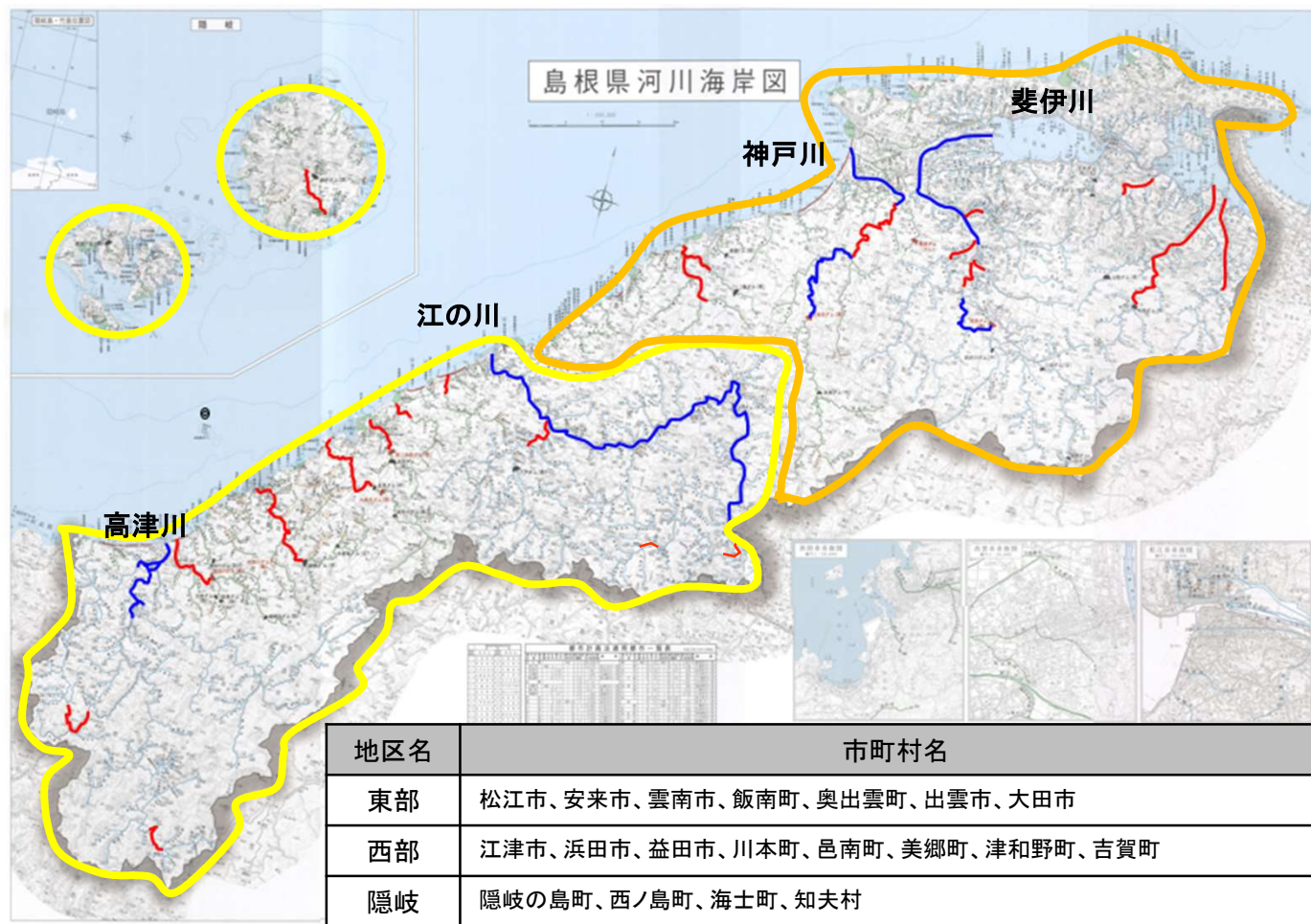
凡例：

共通	松江・雲南・出雲圏域共通の取組
出雲	出雲圏域の取組

島根県

※複数機関での取組を含む

項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知		共通
内 容	R04～08年度取組	R06年度中に想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を全県管理河川で作成・公表	
	R05年度取組状況	(西部・隠岐)洪水浸水想定区域の指定・公表した。【R5.12.26指定・公表】 (東部)洪水浸水想定区域図を作成した。	
	R06年度取組予定	(西部・隠岐)洪水浸水想定区域図の周知 (東部)洪水浸水想定区域の指定・公表	
取組機関	島根県		



— 県作成済河川

— 国作成済河川

□ R3年度～作成範囲

□ R4年度～作成範囲

項 目		4. 洪水時・土砂災害における河川管理者(气象台)からの情報提供(ホットラインの定着を含む)	共通
内 容	R05年度取組状況	洪水対応演習(情報伝達)ホットライン訓練を実施した。 土砂災害警戒情報伝達訓練による連絡体制の定着を図った。	
	R06年度取組予定	洪水対応演習(情報伝達)ホットライン訓練を実施する。(R6.5.10) 土砂災害警戒情報伝達訓練による連絡体制の定着を図る。(R6.6.6)	
取組機関		松江市、安来市、雲南市、飯南町、奥出雲町、出雲市、島根県	

ホットラインを含めた情報伝達演習を実施

実 施 日: 令和5年4月28日

主な内容: 洪水予報河川及び水位周知河川における
水位等の伝達について、関係機関と情報
伝達の手順等を確認

土砂災害警戒情報訓練を実施

実 施 日: 令和5年6月9日

主な内容: 土砂災害警戒情報の発表や土砂災害危険度
情報等の伝達について、関係機関と情報
伝達の手順等を確認



水防本部(県庁河川課水防室)の状況



県庁砂防課内の状況

項 目	5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報提供の充実		共通
内 容	R05年度取組	新水防情報システムの構築(島根県) 各種防災気象情報の改善(松江地方気象台)	
	R06年度予定	新水防情報システムの運用(島根県) 各種防災気象情報の改善(松江地方気象台)	
取組機関	松江地方気象台、島根県		

島 根 県

1. 周知の取組状況

◇報道発表

- ・R5.6月
新聞1社

◇チラシ作成

- ・出前講座・イベント、
小中学校等へ配布

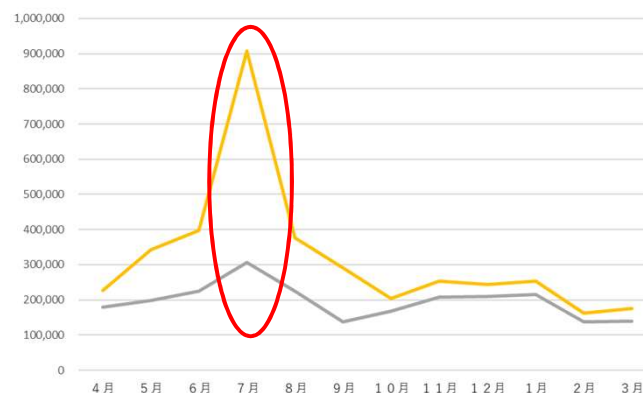


一般向けチラシ

小中学校向けチラシ

2. 水防情報システムへのアクセス状況

令和5年度 アクセス数・閲覧ページの推移



— アクセス数 — 閲覧数

◇最大アクセス数(R5年度)

1ヶ月当たり(R5.7月)

- ・アクセス数 306,191
- ・閲覧ページ数 908,521

1日当たり(R5.7.8)

- ・アクセス数 35,519
- ・閲覧ページ数 65,203

3. 令和5年度の取り組み

◇水防情報システムのリニューアル

- ・地図画面への拡大縮小表示機能追加により、水防観測機器の詳細な位置情報を確認できるようになりました。また、多くの方にシステムを利用してもらうため、多言語機能を追加しました。

◇各水位局の任意しきい値(3値/局)の設定

参考: PC版画面

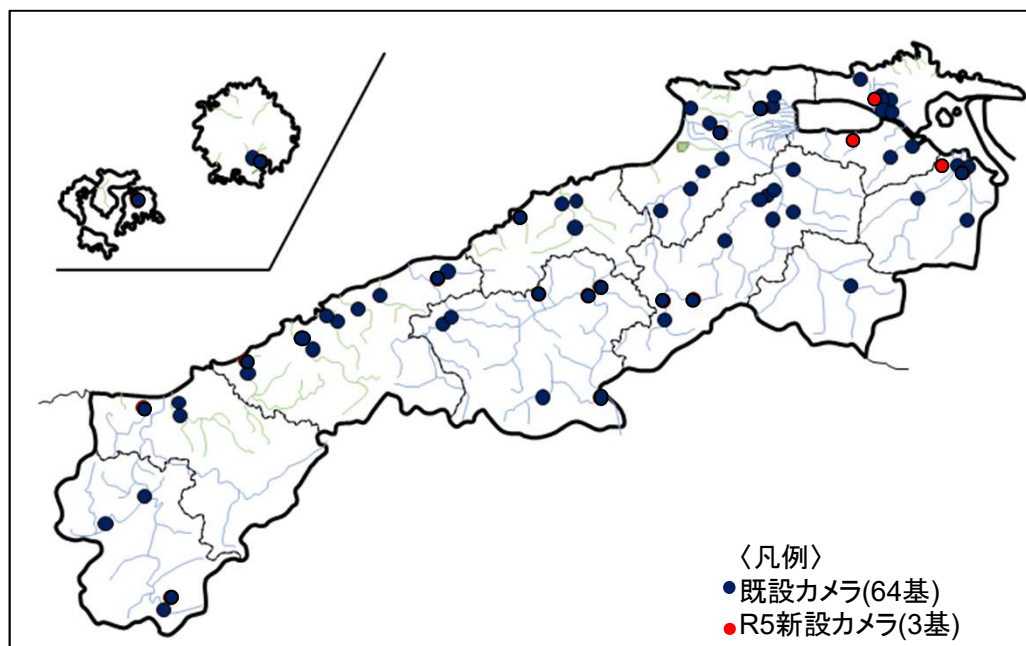
地図から身近な場所を見つけやすい!

島根県内の雨量や川の水位をすぐ確認できる!



項 目	6. 水害リスクの高い箇所を監視する水位計等の整備		共通
内 容	R04～08年度取組	浸水被害が発生するなど住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備する。	
	R05年度取組状況	新たにカメラ3箇所、水位計4箇所を整備した。	
	R06年度取組予定	新たにカメラ5箇所を整備する。	
取組機関	島根県		

県河川監視カメラ設置位置図



R5新設箇所一覧表

- ・玉湯川(花仙橋)
- ・比津川(センチュリータウン)
- ・久白川(猪子塚)

量水標の設置

河川の水位を確認するため、量水標を設置し、カメラでの確認も分かりやすくする。

(R5:3箇所設置)



項 目	6. 水害リスクの高い箇所を監視する水位計等の整備		共通
内 容	R04～08年度取組	浸水被害が発生するなど住民の避難行動を促すため、新たにカメラ等を整備する。	
	R05年度取組状況	新たにカメラ3箇所、水位計4箇所を整備した。	
	R06年度取組予定	新たにカメラ5箇所を整備する。	
取組機関	島根県		

設 置 状 況

玉湯川(花仙橋)



久白川(猪子塚)



比津川(センチュリータウン)



項 目	8. 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検		出雲
内 容	R05年度取組状況	・重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者（島根県）が出雲市・消防団等と共同点検を令和5年6月13日に実施した。（島根県出雲県土整備事務所）	
	R06年度取組予定	・重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者（島根県）が出雲市・消防団等と共同点検を実施する。（島根県出雲県土整備事務所）	
取組機関	出雲市、島根県（出雲県土整備事務所）		



危険箇所：高瀬川



危険箇所：宇那手川

※写真は出雲市、消防団及び島根県出雲県土整備事務所が合同で実施した危険箇所の合同点検状況

項 目		9. 水害・土砂災害危険性の周知促進		共通
内 容	R05年度取組状況	出前講座等により水害・土砂災害危険性を周知した。		
	R06年度取組予定	出前講座等により水害・土砂災害危険性を周知		
取組機関	島根県・松江地方気象台			
出前講座				

研修会（県・市町村職員向け）

日時 令和5年5月23日
 対象 県・市町村職員 34名
 内容 防災気象情報の利活用
 （松江地方気象台）
 水防法
 水防計画
 水防情報システム
 近年の災害 など
 （島根県河川課）



出前講座（河川沿いの保育園向け）



日時 令和5年7月20日
 対象 平田保育所 3～5歳児 126名
 内容 紙芝居「たいふうがくるぞ」など

出前講座（住民・要配慮者利用施設向け）



日時 令和5年7月30日
 対象 浜田市消防団員
 内容 「豪雨と水防活動について」など

項 目	9. 水害・土砂災害危険性の周知促進		共通
内 容	R05年度取組状況	出前講座等により水害(土砂災害)危険性を周知した。	
	R06年度取組予定	出前講座等により水害(土砂災害)危険性を周知	
取組機関	島根県・松江地方気象台		

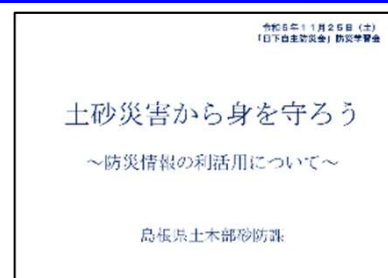
出前講座

研修会（県・市町村職員向け）



日時 令和5年5月23日
 対象 県・市町村職員 23名
 内容 防災気象情報の利活用（松江地方気象台）
 土砂災害防止法（島根県砂防課） など

出前講座（自主防災組織向け）



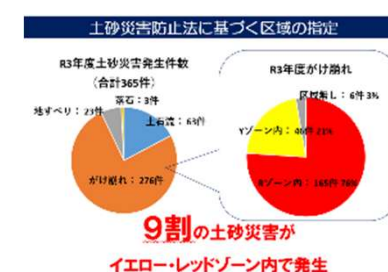
日時 令和5年11月25日
 対象 日下地区自主防災会
 内容 土砂災害から身を守ろう
 街歩き防災マップの作成 など

出前講座（高校向け）



日時 令和5年12月13日
 対象 松江農林高校
 内容 土砂災害のメカニズム・対策候補の事例
 土砂災害の模型実験・地すべり対策工を考えよう など

出前講座（要配慮者利用施設向け）



日時 令和5年7月21日
 対象 障害者支援施設 12名
 内容 土砂災害から身を守ろう・警戒行動 など

項 目	9. 水害・土砂災害危険性の周知促進		共通
内 容	R05年度取組状況	出前講座等により水害(土砂災害)危険性を周知した。	
	R06年度取組予定	出前講座等により水害(土砂災害)危険性を周知	
取組機関	島根県		

新聞広報等による情報発信

◆チラシ 島根県情報コーナーへの配架など

R6継続

◆考える県政 令和5年6月3日

R6出水期前に掲載予定



出典: 令和5年6月3日 山陰中央新報「考える県政」

◆防災に関する展示

R6継続

令和5年8月30日～9月5日
県庁1階ロビー



令和5年6月2日～7月5日
県立図書館1階ロビー



◆島根県総合防災訓練

R6継続

防災展示コーナーを開設し、各防災関係機関による住民への防災啓発を実施

令和5年10月29日
中海ふれあい公園(安来市)



項 目	9. 水害・土砂災害危険性の周知促進		共通
内 容	R05年度取組状況	出前講座等により水害(土砂災害)危険性を周知した。	
	R06年度取組予定	出前講座等により水害(土砂災害)危険性を周知	
取組機関	島根県		

研修会

【令和5年度 避難行動要支援者・個別避難計画実務研修】

R6実施に向け調整中

1. 日 時 令和5年12月4日(月) 松江テルサ 大会議室 ほかにテレビ会議
令和5年12月5日(火) いわみーる 401研修室 ほかにテレビ会議
2. 受講者 市町村職員、社会福祉協議会、自主防災組織、民生委員等 約80名
3. 内 容 講義「避難にむすびつく防災気象情報の利活用」「医療的ケア児の災害支援」「難病患者の災害支援」
県内市町村による事例紹介、意見交換会(グループワーク)
4. 講 師 一般社団法人兵庫県社会福祉士会 西野事務局長 ほかに

【令和5年度 島根県自主防災組織リーダー研修】

R6.10頃 大田市にて実施予定

1. 日 時 令和5年11月25日(土)～26日(日)
2. 場 所 島根県松江合同庁舎 2階講堂
3. 対 象 自主防災組織構成員、自治会関係者、防災士など 合計 33名
4. 内 容 事例発表、洪水・土砂災害に関する講義、男女共同参画の視点で考える防災、
災害史に関する講義、まちあるき・災害図上訓練 ほかに
5. 講 師 静岡大学防災総合センター 牛山教授、山口大学大学院 瀧本准教授 ほかに



【令和5年度 島根県防災士養成研修】

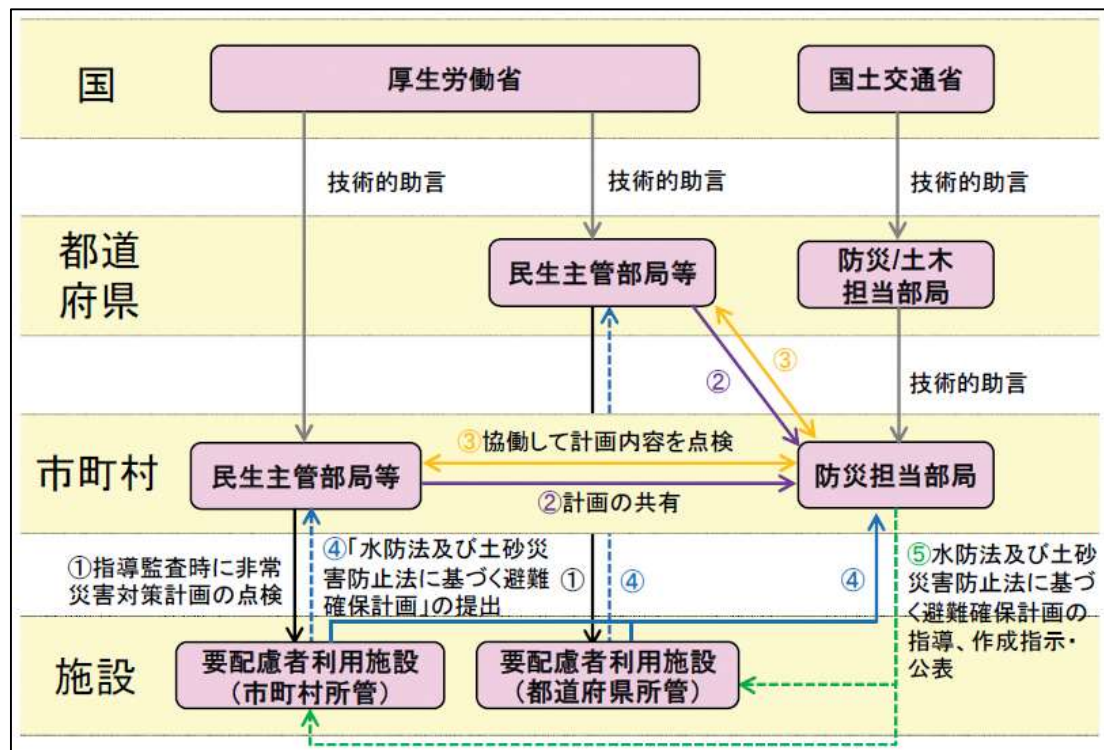
R6.6.8～6.9
県浜田合同庁舎にて実施予定

1. 日 時 <第1回> 令和5年6月3日(土)～4日(日)
<第2回> 令和5年11月11日(土)～12日(日)
2. 場 所 島根県職員会館 2階多目的ホール
3. 受講者 <第1回> 70名 / <第2回> 61名 合計 131名
4. 内 容 防災に関する各種講義、救急救命講習、防災士資格取得試験
5. 講 師 NPO法人日本防災士会 宮永理事 ほかに



項 目		10. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	共通
内 容	R5年度取組	対象施設に対する説明会の実施、作成支援(協議会全体)	
	R6年度予定	対象施設に対する説明会の実施、作成支援(協議会全体)	
取組機関	協議会全体		

【要配慮者利用施設の避難確保計画作成・点検の流れ】



避難確保計画の作成状況

(水害)

[R5.9.30時点]

島根県86.9%(831/958施設)

【松江圏域】

松江市 74.1%(172/232施設)

安来市 86.4%(70/81施設)

【雲南圏域】

雲南市 80.5%(33/41施設)

飯南町 対象施設なし

奥出雲町 対象施設なし

【出雲圏域】

出雲市 93.4%(370/396施設)

◆雲南市・奥出雲町・飯南町
(R05年度予定)計画策定等に係る資料の
提供及び指導助言

項 目	11. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策		出雲
内 容	R05年度取組状況	河川改修による洪水氾濫を未然に防ぐ対策を実施した。	
	R06年度取組予定	河川改修による洪水氾濫を未然に防ぐ対策を実施する。	
取組機関	出雲市、島根県（出雲県土整備事務所）		

新内藤川 寺田橋上流 整備状況

令和5年度 整備状況(寺田橋から上流)



令和5年度 整備状況(南濱橋から下流)



項 目	11. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策		出雲
内 容	R05年度取組状況	河川改修による洪水氾濫を未然に防ぐ対策を実施した。	
	R06年度取組予定	河川改修による洪水氾濫を未然に防ぐ対策を実施する。	
取組機関	出雲市、島根県（出雲県土整備事務所）		

赤川(整備状況)令和5年度本改修箇所



赤川(整備状況)令和5年度本改修箇所



塩冶赤川(整備状況)令和5年度本改修箇所



塩冶赤川(整備状況)令和5年度本改修箇所



項 目		11. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	出雲
内 容	R05年度取組状況	河川改修による洪水氾濫を未然に防ぐ対策を実施した。	
	R06年度取組予定	河川改修による洪水氾濫を未然に防ぐ対策を実施する。	
取組機関	出雲市、島根県（出雲県土整備事務所）		

令和5年度 午頭川 浜郷橋下流付近整備状況



令和5年度 午頭川 浜郷橋上流付近整備状況



項 目		11. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	出雲
内 容	R05年度取組状況	通水を阻害する堆積土砂や立木を計画的に撤去した。	
	R06年度取組予定	通水を阻害する堆積土砂や立木を計画的に撤去する。	
取組機関	出雲市、島根県（出雲県土整備事務所）		

施工前

令和5年度施工後

羽根川



神戸川



項 目	1 2. 排水施設、排水資機材等の情報を共有		共通
内 容	R05年度取組状況	令和5年度水防計画、ホームページにより排水施設、排水資機材等の情報共有を行った。	
	R06年度取組予定	令和6年度水防計画により排水施設、排水資機材等の情報共有を行う。	
取組機関	協議会全体		

令和6年度 水防計画抜粋

第32号表 災害対策用機械配置一覧表

(1) 国土交通省所有機械基地名称及び位置

基 地 名	所 在 地	台数	規 格	車両 総重量(kg)
斐伊川出雲市 河川防災ステーション	出雲市上塩治町	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 2.0m) 機械番号 25-4706	18,070
		1台	照明車 1.3kw×6灯(LED) 機械番号 30-4705	5,245
出雲河川事務所 中海出張所	安来市東赤江町福井 1637	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s 機械番号 R02-4705	9,220
		1台	照明車 2kw×6灯 機械番号 21-4703	7,640
浜田河川国道事務所 安富水防倉庫	益田市安富町	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s 機械番号 24-4702	9,340
浜田河川国道事務所 江の川下流出張所	江津市渡津町	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 2.0m) 機械番号 24-4706	17,480
		1台	照明車 1.3kw×6灯 機械番号 30-4706	5,235
浜田河川国道事務所 多田水防倉庫	川本町多田	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 2.0m) 本部付 機械番号 22-4700	17,050
浜田河川国道事務所 尾原水防倉庫	川本町川下	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 20m) 本部付 機械番号 19-4704	17,270
		1台	照明車 2kw×6灯 本部付 機械番号 20-4705	7,650
浜田河川国道事務所 益田国道維持出張所	益田市あけぼの町	1台	照明車 2kw×6灯 本部付 機械番号 16-1709	7,930

(2) 島根県所有機械基地名称及び位置

基 地 名	所 在 地	台数	規 格	車両 総重量(kg)
雲南県土整備事務所	雲南市木次町里方 531-1	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s	10,340
県央県土整備事務所 排水ポンプ車格納庫	邑智郡美郷町築瀬 383-1	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s	7,860
桜江地区防災資機材 格納庫	江津市桜江町川戸 14-4	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s	7,860

(3) 市町村所有機械基地名称及び位置【小型ポンプ車を除く】

基 地 名	所 在 地	台数	規 格	車両 総重量(kg)
雲南市三刀屋水防格 納庫	雲南市三刀屋町三刀屋 1164-4	1台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s	7,660

(3) 要請先(窓口)

1) 国土交通省所有機械

国土交通省出雲河川事務所	管理第一課	TEL	0853-20-1765
		FAX	0853-22-6117
国土交通省浜田河川国道事務所	河川管理課	TEL	0855-22-2480
		FAX	0855-22-2486
国土交通省中国地方整備局	災害対策 マシ/メント室	TEL	082-221-9231
		FAX	082-227-2651

2) 島根県所有機械

各県土整備事務所等(各水防支部・地区)	管理課	TEL	P6 参照
		FAX	#
土木部河川課(水防本部)	防災係	TEL	0852-22-6363

○島根県内の排水ポンプ車配備位置図



島根県所有の排水ポンプ車



能力: 3.0 m³/min (5m² × 6)

設置人数: 5名程度

運転時間: 48 時間

(雲南県土整備事務所)

(県央県土整備事務所)

(浜田県土整備事務所)

松江地方気象台

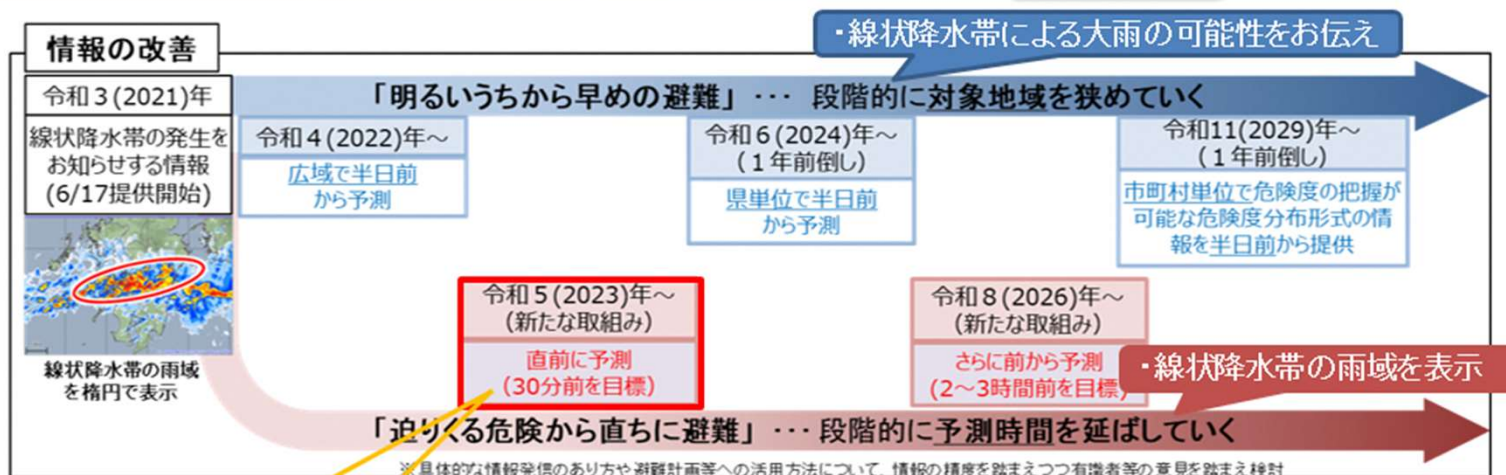
項 目	5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報等提供の充実		共通
内 容	R 05年度取組	顕著な大雨に関する気象情報をより早く提供 線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えるため、予測技術を活用し現在より30分程度早く発表。	
	R 06年度予定	線状降水帯による大雨の可能性を半日前から府県単位での呼びかけ。	
取組機関	松江地方気象台		

顕著な大雨に関する気象情報を、より早く提供

令和5年
5月25日～



気 象 庁



「顕著な大雨に関する気象情報」の発表

従前：線状降水帯の発生 改善後 従前より 30分程度早く、全自動で発表
予測技術を活用し、線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えることを目指す。

顕著な大雨に関する〇〇県気象情報 第1号

令和5年〇月〇日〇〇時〇〇分 〇〇気象台発表
(見出し)

これまでの情報文と同じ

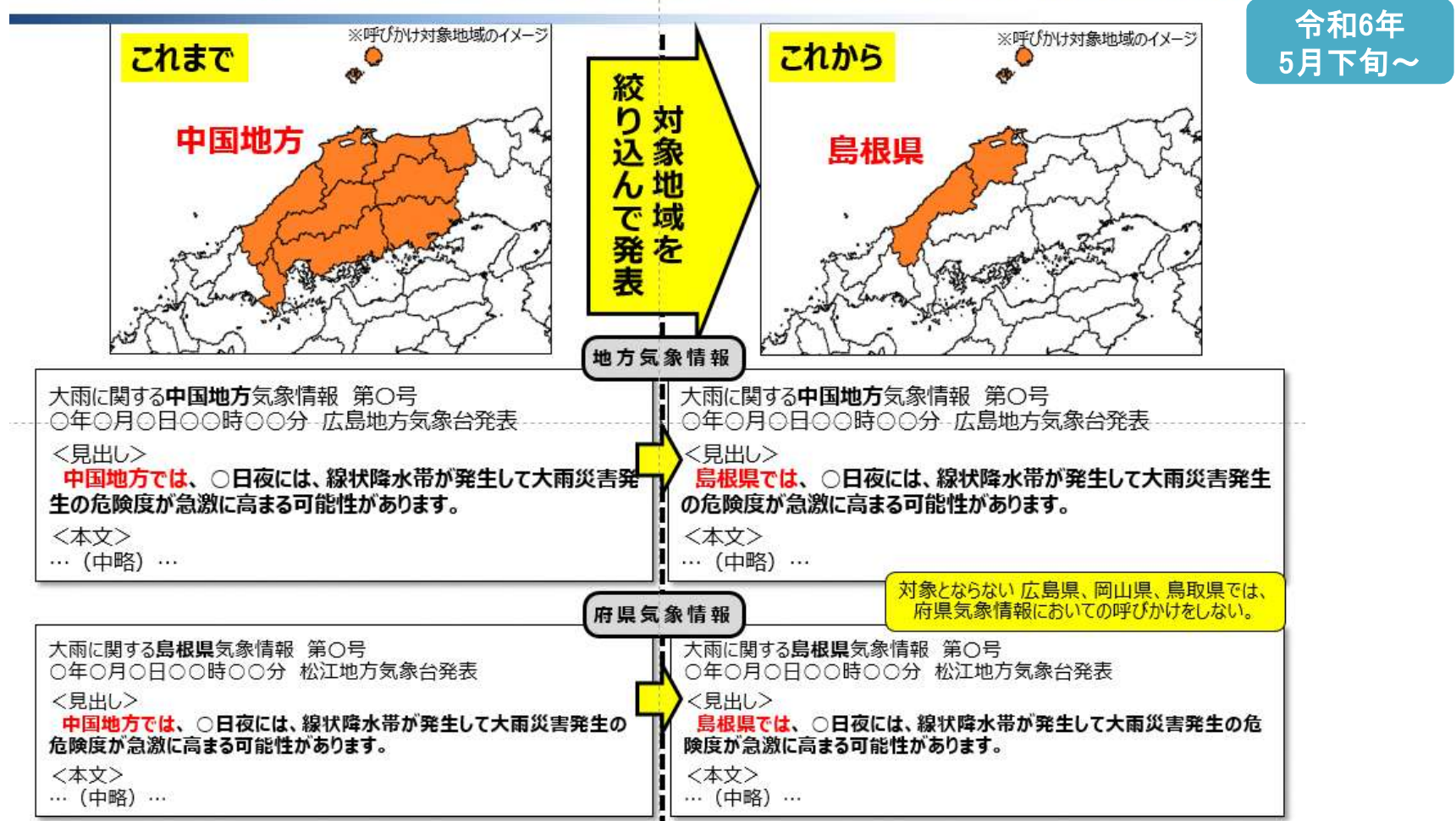
〇〇地方、〇〇地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。
命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

(本文)

なし

項 目	5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報等提供の充実		共通
内 容	R 05年度取組	顕著な大雨に関する気象情報をより早く提供 線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えるため、予測技術を活用し現在より30分程度早く発表。	
	R 06年度予定	線状降水帯による大雨の可能性を半日前から府県単位での呼びかけ。	
取組機関	松江地方気象台		

令和6年から開始する半日前からの府県単位での呼びかけ（地方／府県気象情報）



項 目	5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報等提供の充実		共通
内 容	R 05年度取組	顕著な大雨に関する気象情報をより早く提供 線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えるため、予測技術を活用し現在より30分程度早く発表。	
	R 06年度予定	線状降水帯による大雨の可能性を半日前から府県単位での呼びかけ。	
取組機関	松江地方気象台		

令和6年から開始する半日前からの府県単位での呼びかけ（全般気象情報）

令和6年
5月下旬～

これまで

（見出し）
強い台風第7号は、15日は近畿地方から東海地方にかなり接近し、上陸するおそれがあります。東日本や西日本では、暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、高波に警戒してください。また、西日本では高潮に厳重に警戒してください。近畿地方では14日午後から15日午後にかけて、東海地方では14日午後から15日夜にかけて、関東甲信地方では14日夜から15日午前中にかけて、四国地方では14日夜から15日午後にかけて、中国地方では15日午前中から15日午後にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性があります。

（本文）
…
＜大雨・雷・突風＞
（中略）
15日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、東海地方 400ミリ
…
16日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、東海地方 300から400ミリ
…の見込みです。
線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。
（中略）

全般気象情報

これから

※発表する情報の電文フォーマットは変わりません。

（見出し）
強い台風第7号は、15日は近畿地方から東海地方にかなり接近し、上陸するおそれがあります。東日本や西日本では、暴風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、高波に警戒してください。また、西日本では高潮に厳重に警戒してください。既に線状降水帯が発生しやすい状況となっている地域や今後線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある地域があります。

（本文）
…
＜大雨・雷・突風＞
（中略）
15日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、東海地方 400ミリ
…
16日12時までの24時間に予想される雨量は、多い所で、東海地方 300から400ミリ
…の見込みです。
線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。また、今後線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性のある地域は、
東海地方 14日午後から15日夜にかけて
岐阜県、三重県
近畿地方 14日午後から15日午後にかけて
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
関東甲信地方 14日夜から15日午前中にかけて
神奈川県、長野県、山梨県
中国地方 15日午前中から15日午後にかけて
鳥取県、島根県、岡山県
四国地方 14日夜から15日午後にかけて
徳島県
です。
（中略）

絞り込んで発表対象地域を

線状降水帯による大雨災害の危険度が急激に高まる可能性のある期間を明確化

項 目	5.避難情報の発令判断を的確に行うための水防情報・土砂災害危険度情報等提供の充実		共通
内 容	R 05年度取組	台風予報円及び暴風警戒域を絞り込んで発表。	
	R 06年度予定	-	
取組機関	松江地方気象台		

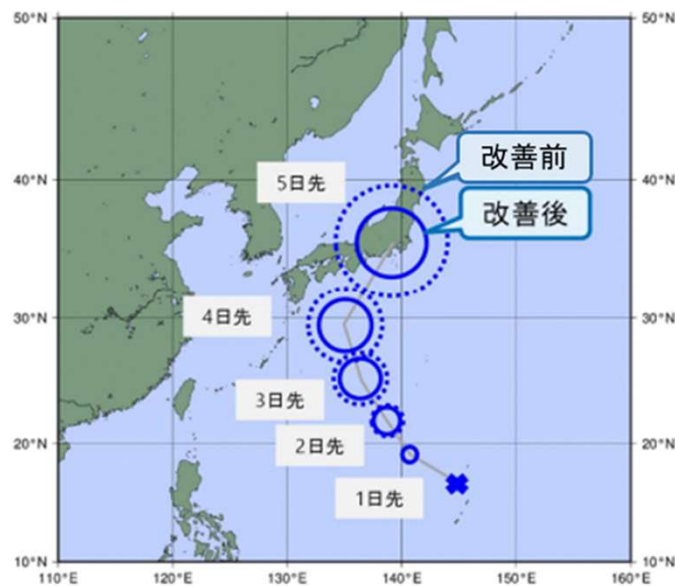
台風予報円及び暴風警戒域をより絞り込んで発表

令和5年
6月26日～



- 数値予報技術等の改善により台風進路予報の精度が向上していることを踏まえ、台風進路予報の予報円の大きさ及び暴風警戒域を現在よりも絞り込んで発表するよう改善
- 特に、3日先以降の予報円が大きく改善し、5日先の予報円の半径はこれまでと比べて最大40%小さくなる

予報円・暴風警戒域の改善イメージ
(令和元年東日本台風の例)



予報円の改善イメージ



暴風警戒域の改善イメージ

項 目	7.住民の水害・土砂災害に対する防災意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及や訓練	
内 容	R05年度取組	「島根県総合防災訓練」において、展示ブースを開設
	R06年度予定	引き続き、依頼に基づき、出前講座等の実施や各種訓練に協力する。
取組機関	松江地方気象台	

共通

「島根県総合防災訓練」において 展示ブースを開設

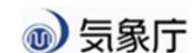


10月29日に安来市で開催された「島根県総合防災訓練」に参加 広く一般住民に向け防災に関する展示・解説を実施

- ・雨量計のカットモデルを展示し、構造・観測原理等を説明。
- ・気象庁が発表する様々な防災気象情報について、説明パネルを掲示。
パンフレットを配布し、防災知識の普及・啓発を行い、住民の防災意識向上に寄与。

項 目	10.要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援（水害・土砂災害）		共通
内 容	R 05年度取組	洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援 や定住外国人等を対象とした避難情報の提供、避難訓練の実施支援	
	R 06年度予定	引き続き、避難情報の提供、避難計画作成等や避難訓練の支援に協力する。	
取組機関	松江地方気象台		

自治体支援の強化



< 新たに配置された4つの役割 >

① 気象情報基準評価係長 特別警報・警報基準の見直し



各市町村の地域ごとの災害特性に即した大雨特別警報等の基準値の設定・運用・検証・改善

② 流域治水対策係長 流域治水協議会等への対応



流域治水協議会に参画し、各河川流域の災害特性に特化した気象資料の提供や技術的助言

③ 要配慮者対策係長 高齢者や障がい者の避難に関する計画作成等の支援対応



要支援者の避難に関する計画策定への助言や内容を特化した普及啓発

④ リスクコミュニケーション推進官 多様な分野のリスクコミュニケーションを推進

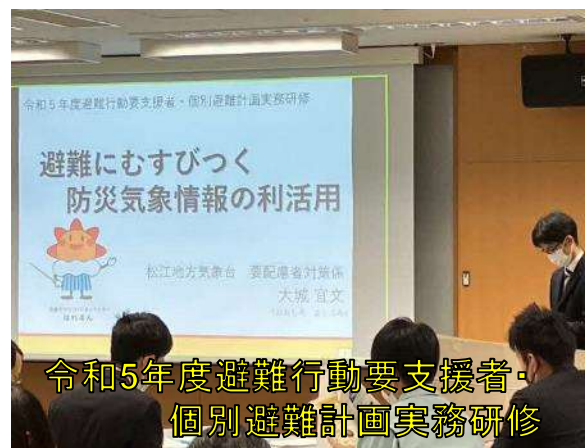


情報受け手側との対話を通じて、情報発信の改善や防災意識向上の取組

< 要配慮者対策係による講演 >



松江市社会福祉協議会



令和5年度避難行動要支援者・個別避難計画実務研修

項 目		14.他機関と多角的に連携し、地域を挙げて防災意識の向上を図る。	共通
内 容	R05年度取組	「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務の強化	
	R06年度予定	引き続き、各市町村の防災対応について、専任職員「あなたの町の予報官」が、web等も活用し平常時からきめ細かく支援する。	
取組機関	松江地方気象台		

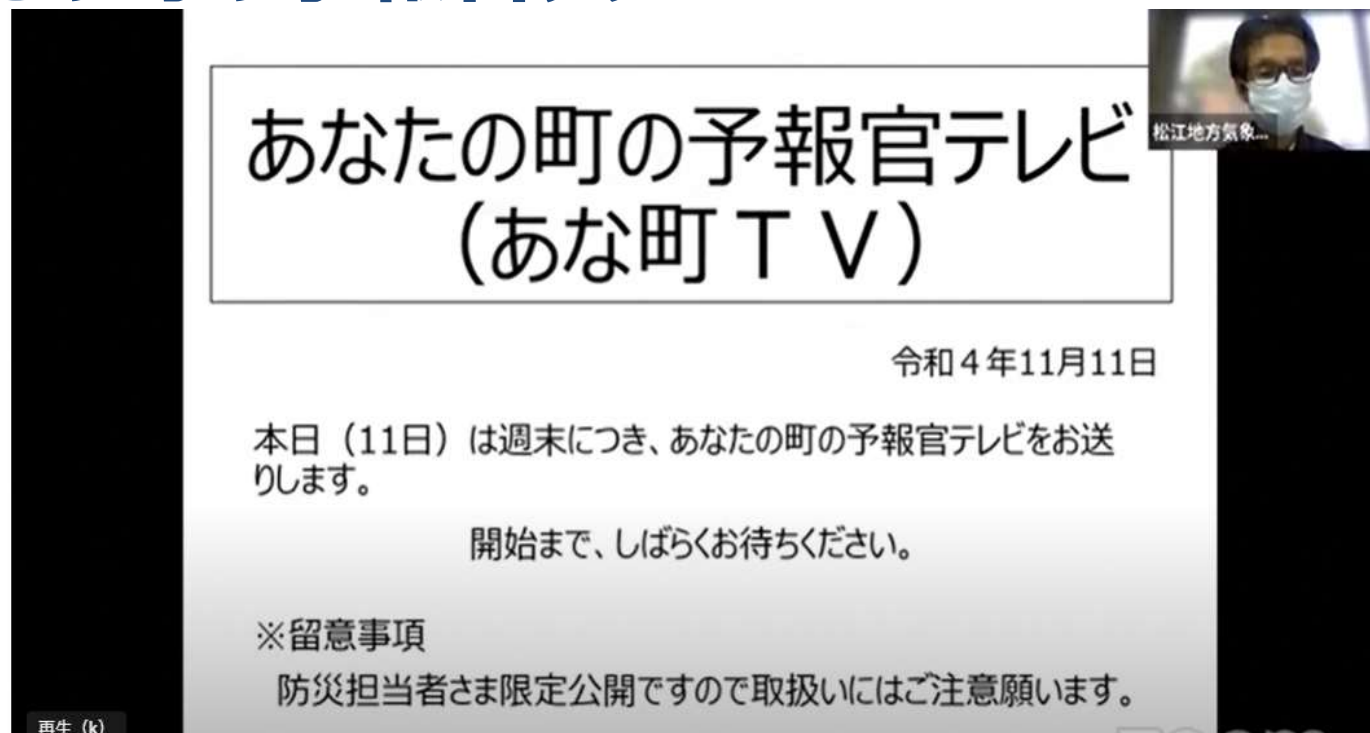
地域防災支援の強化—あなたの町の予報官（担当チーム）の取組



※あなたの町の予報官テレビ＝気象台による防災気象情報の解説（Web）

項 目		14.他機関と多角的に連携し、地域を挙げて防災意識の向上を図る。	共通
内 容	R 05年度取組	市町村防災担当者向けに、「あなたの町の予報官テレビ」と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕方に「youtube」にて配信 併せて平日は、毎日16時に「防災メール」を配信	
	R 06年度予定	各市町村の防災対応について、専任職員「あなたの町の予報官」が、web等も活用し平常時からきめ細かく支援する。	
取組機関	松江地方気象台		

あなたの町の予報官テレビ（R6年度も継続実施）



市町村防災担当者向けに、**「あなたの町の予報官テレビ」**と題した情報提供コンテンツを、毎週金曜日夕方に「youtube」にて配信。週末にかけて、県内の気象に関する留意点等を動画にて平易に解説（大雨等が見込まれる際は、随時配信）。

併せて平日は、毎日16時に**「防災メール」**を配信し、きめ細かく防災対応を支援。

項 目		14.他機関と多角的に連携し、地域を挙げて防災意識の向上を図る。	共通
内 容	R05年度取組	市町村防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催	
	R06年度予定	地方公共団体における防災担当職員等養成の一環として、依頼に基づく助言・講演や各種ワークショップを開催する。	
取組機関	松江地方気象台		

市町村防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催

(R6年度も継続実施)



【場面1】

【検討】 30日 5:19

残り時間 10 5 3

入手した「防災気象情報」等の内容を確認し、次の点について検討してください。

- ① すぐに「警戒レベル3、高齢者等避難」を発令する必要があるか。
 - 検討結果を町長に説明することを想定して、理由も整理しておいてください。
- ② 今後どのような情報に特に注意するか？

検討結果を、ワークシートに記入してください。
(検討時間10分)

34

- ・土砂災害・洪水災害が発生するおそれがある状況を想定し、気象台等から発表される様々な情報を参照しながら、グループワークを実施。
- ・各種防災気象情報への理解・有効活用とともに、体制強化や避難情報発令のタイミングなどに関する検討を行い、判断のポイントを学んでいただくことによって地域防災対応力の向上を支援。

項 目		14.他機関と多角的に連携し、地域を挙げて防災意識の向上を図る。		共通
内 容	R05年度取組	報道機関との懇談会を定期的開催		
	R06年度予定	報道機関等部外との懇談会・打合せを定期的開催する。		
取組機関	松江地方気象台			

報道機関との懇談会を定期的開催（R6年度も継続実施）

- ・ Web会議ツール「Zoom」を利用した「報道機関との懇談会」を鳥取地方気象台及び島根・鳥取両県内の河川・国道事務所と共同開催
- ・ 水害をはじめとする防災知識の普及・啓発・周知について連携を強化
- ・ Web開催により 放送局・新聞社等広域かつ多数の機関を同時に結んだ効果的・効率的な連携を実現
- ・ 雪害等もテーマに、出水期に限らず通年で開催



【開催実績と気象台からの話題提供】

- 第6回 令和5年7月7日「二重偏波気象レーダーについて」「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用について」
- 第7回 令和5年11月30日「冬期気象状況の経年変化、予想される冬の天候、雪に関する気象情報について」

出雲河川事務所

項 目	7. 住民の水防災・土砂災害意識の向上に資する出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及や訓練		共通
内 容	R05年度取組	・出前講座による水防情報の入手、活用方法等の普及について、取り組んだ。	
	R06年度予定	・出前講座による水防情報の入手、活用方法等の普及について、引き続き取り組む。	
取組機関	出雲河川事務所		

■令和5年度 防災知識の普及、マイ・タイムライン作成支援状況

マイ・タイムラインを住民が自ら作成するための支援、普及のため、流域の小学生に対して、斐伊川や神戸川の水害リスクや防災情報と合わせて、マイ・タイムラインの目的や検討・作成方法について出前講座で説明を行いました。

- ・日 時：令和5年10月6日（金）
- ・場所等：城北小学校
- ・対象者：城北小学校

出前講座の状況



- ・日 時：令和5年10月11日（水）
- ・場所等：大橋川コミュニティセンター
- ・対象者：松江第三中学校

出前講座の状況



マイ・タイムライン検討ツール

■マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは住民が一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。

その検討過程では、市区町村が作成、公表した洪水ハザードマップを用いて、自らの様々な洪水リスクを知り、どのような避難行動が必要か、また、どういうタイミングで避難することがよいのかを自ら考え、さらには、家族と一緒に日常的に考えるものです。

項 目	12. 排水施設、排水資機材等の情報を共有		共通
内 容	R05年度取組	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行った。	
	R06年度予定	・水防連絡会等により、排水施設、排水資機材等の情報の共有を行う。	
取組機関	出雲河川事務所		

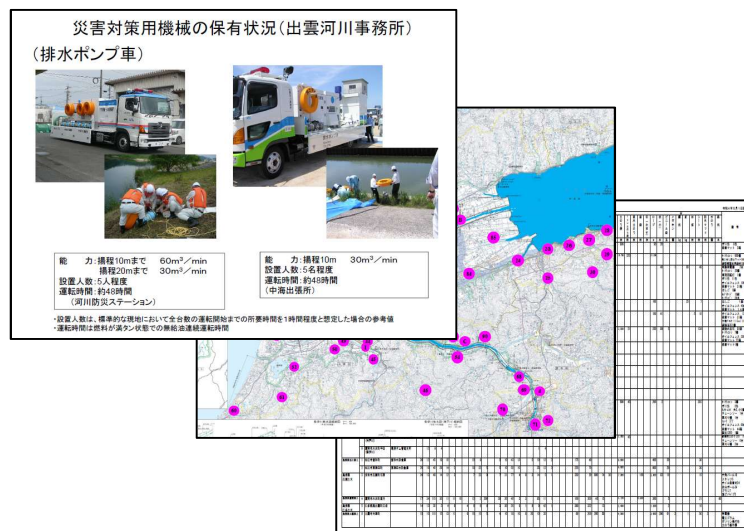
○備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認

- 水防管理団体等と河川管理者との間において水防に必要な情報の交換を行い、洪水時等における協力体制の強化を図ることを目的として、『斐伊川水系水防連絡会』を開催。
- 関係機関の備蓄水防資機材の整備状況、出雲河川事務所の災害対策用機械の保有状況及び支援要請方法等を確認。
- 関係機関の水防連絡体制（系統）を確認。
- 水防団の知識・技能向上に向け水防専門家派遣制度等を紹介。

斐伊川水系水防連絡会

【令和5年度】

令和6年6月16日にテレビ会議方式で実施。



洪水予報連絡会・水防連絡会開催状況
(WEB)

項 目	14. 他機関と多角的に連携し、地域を挙げて防災意識の向上を図る。		共通
内 容	R05年度取組	・報道機関等部外との懇談会・打合せを行った。	
	R06年度予定	・報道機関等部外との懇談会・打合せを定期的に行う。	
取組機関	出雲河川事務所		

○報道機関との連携

◆報道機関と松江地方気象台、出雲河川事務所、浜田河川国道事務所との合同懇談会を開催

地域住民に情報を提供している新聞・テレビ・ケーブルテレビ、コミュニティFM等の特性を活かし、住民が行動を起こすことにつなげるため、報道機関との意見交換会を実施

■令和5年度 実施状況

◆開催状況

(第1回)

○日時: 令和5年7月7日(金)

○場所等: Web会議

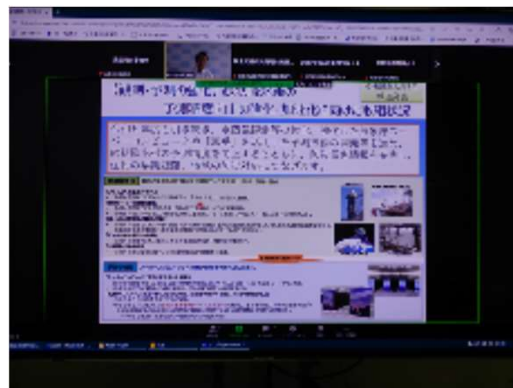
○テーマ

・「洪水予報と河川に関する情報の発信について」

・「「顕著な大雨に関する気象情報」の新たな運用について」

・「二重偏波気象レーダーについて」

※令和5年度は鳥取県内の国土交通省と気象台も合同で開催。



令和5年7月7日 報道機関と松江地方気象台との合同懇談会(Web会議)

■令和6年度 実施予定

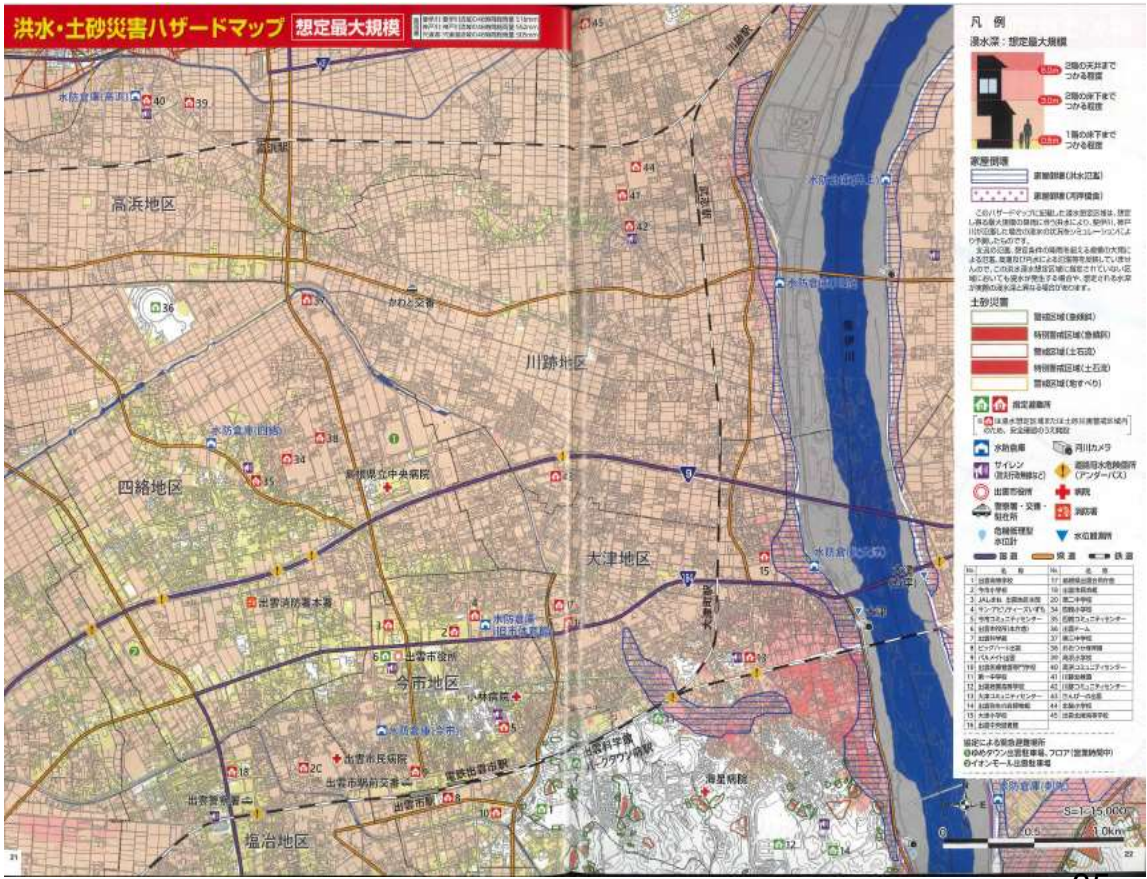
引き続き意見交換会を開催し、情報共有を行う

○第1回 日時: 令和6年6月頃開催予定

出雲市

項 目	2. 水害ハザードマップの改良・周知		出雲
内 容	R05年度取組状況	出前講座やホームページ等を活用し、ハザードマップの周知を行った。	
	R06年度取組予定	引き続き、出前講座やホームページ等を活用し、ハザードマップの周知を行う。	
取組機関	出雲市		

○出雲市の取組状況



項目	7.住民の水防災・土砂災害意識の向上に資する出前講座や広報誌を活用した防災知識の普及や訓練		出雲
内容	R05年度取組状況	出前講座や広報誌、ホームページ等を活用し、防災知識の普及、マイタイムライン作成について周知した。	
	R06年度取組予定	出前講座や広報誌、ホームページ等を活用し、防災知識の普及、マイタイムライン作成について周知する。	
取組機関	出雲市		



梅雨の季節となりました 大雨や土砂災害に備えてください

市では、避難等に関する情報を市の防災情報サイト、防災行政無線、ケーブルテレビ、有線放送（ひらたCATV）等を通じて、エフエムいずも、市のホームページ、いずも防災メール、緊急連絡メール（携帯電話事業者）、テレビ等でお知らせします。

「警戒レベル4」までに必ず避難しましょう！

市民の皆さん、防災情報の意味を正確に理解でき、それぞれの状況に応じて避難できるよう、災害発生時の危険度と皆さんにとっていただく行動を、5段階の「警戒レベル」を用いてお知らせします。

警戒レベル	避難情報	避難情報種
5		緊急安全確保
～（警戒レベル4までに必ず避難！）～		
4		避難指示
3		高齢者等避難
2		大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1		早期注意情報（気象庁）

※警戒レベルは安全な避難が促る段階から危険な状況まで、警戒レベル4までに危険な状況から避難しましょう！

＼ 避難について、次の「5つのポイント」を確認しておきましょう！

避難の5つのポイント

- 避難とは「逃」を「避」けること。
緊急時の移動は危険を伴います。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。
- 避難先は、指定避難所ではありません。自宅の2階や安全な親戚・知人家に避難することも考えておきましょう。
- 非常食や常備薬などの持出品は日ごろから準備しましょう。
- 市が開設する避難所は、市のホームページや防災行政無線、いずも防災メールなどで確認してください。
- 避難時に、やむを得ず車中泊をする場合は、湿がしないよう周囲の状況等を十分確認してください。



広報いずも 6月号（5月19日発行）に、
大雨や土砂災害への備えについて掲載

土砂災害から身を守るためには

～集中豪雨の危険が高まる6月は「土砂災害防止月間」です～

土砂災害が発生する前には、前兆現象が起る場合があります。前兆現象に気づいたら早急に避難し、防災行政無線または行政センター、最寄国土地院（土砂災害防止課）に30・3723へ通報してください。

がけ崩れ	土石流	地すべり
急勾配の斜面が、雨の降るにつれて土が崩れ落ちる現象。 （前兆） ● 土が崩れ落ちる音がする。 ● 斜面が崩れ落ちる音がする。 ● 斜面が崩れ落ちる音がする。	谷や沢の石や土が、大雨による大量の水に流され、一気に下流へ流れ出る現象。 （前兆） ● 土が崩れ落ちる音がする。 ● 斜面が崩れ落ちる音がする。 ● 斜面が崩れ落ちる音がする。	谷や沢の石や土が、大雨による大量の水に流され、一気に下流へ流れ出る現象。 （前兆） ● 土が崩れ落ちる音がする。 ● 斜面が崩れ落ちる音がする。 ● 斜面が崩れ落ちる音がする。

防災行政無線戸別受信機を設置しましょう

戸別受信機は、災害時に防災行政無線からの防災情報を屋内で聞くことができる機器です。
また、戸別受信機からは、防災情報のほか、市からのお知らせも放送しています。
市から無償で（世帯1台まで）お貸ししますので、ぜひ設置してください。ただし、加入料として5,000円（1回限りの負担）が必要です。

※戸別受信機の点検について
災害時に避難する際の情報が正確に伝わるよう、定期的な点検をお願いします。
● エドが点検していないが、
● コンシェルに接続されているが、
● 故障が入っているが、点検していないが、1年1回を目安に点検しましょう。

いずも防災メールに登録しましょう

携帯電話、スマートフォン等のメールアドレスを登録すると、各種情報や市が主催する避難情報などをメールで受信できます。防災行政無線の手段として、ぜひ登録してください。

登録の仕方 ① 次のアドレスに空メールを送ってください。 mi-izumo@expressmail.jp
② 届いたメールに返信して登録してください。

おたずね

●市役所本庁 防災安全課 ☎21-6606	●避難行政センター 市民サービス ☎43-1212
●市民行政センター 地域連携課 ☎63-3111	●大田行政センター 市民サービス ☎53-4444
●佐田行政センター 市民サービス ☎84-0111	●釜川行政センター 地域連携課 ☎73-9000
●多田行政センター 市民サービス ☎86-3111	

項 目	9. 水害・土砂災害危険性の周知促進		出雲
内 容	R05年度取組状況	・ 学校、地域、企業等を対象とした防災学習・防災講座を実施した。 ・ 外国人住民向けに通訳を介した防災学習・防災講座を実施予定。（令和6年2月） 令和5年度実績 44件（令和5年12月1日時点）	
	R06年度取組予定	・ 出前講座等により過去の浸水状況を周知するとともに、ハザードマップ等を活用し水害（土砂災害）危険性を周知する。	
取組機関	出雲市		

○出雲市の取組状況



左：出雲市立塩冶小学校における防災学習



右：外国人住民向け防災学習（令和4年）